

医療・介護の負担増

国会要請 地元議員へ署名1千人分託す

協会は4月20日、全国保険医団体連合会（保団連）主催の中央要請行動に参加、大阪選出の衆参両院議員へ医療・介護の負担増中止、介護保険法等地域包括ケア強化法案の慎重審議、廃案を要請した。行動には18協会・医会から91人が参加した。大阪歯科からは下井戸昭介副理事長ら役員・事務局10人が参加した。（関連2面）

政府は2017年度から①70歳以上高齢者の患者負担限度額引き上げ②65歳以上の療養病床患者の居住費負担③後期高齢者の保険料引き上げ——を段階的に進めることとしている。4月18日には現役並み所得者の利用料を3割に引き上げるなど新たな負担増を強いる介護保険法等法案が衆院で採択され、参院に回され

大阪 保険医新聞

5/15
2017年第1266号
大阪府歯科保険医協会 敬
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
電 話 (06) 6568-7731 (代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

清水議員（上）と辰巳議員（下） 4月20日、東京



2018年の診療報酬改定へ向け、保団連は「保険で良い歯科医療」の実現を目指し請願署名をスタートした。歯科医療政策の歴史と改善要求運動の意義について、全国保険医団体連合会の宇佐美宏歯科代表に聞いた。

保険で良い歯科を求めて 過去・現在・未来 ①

国民医療費に占める歯科医療費の割合（図）は、1980年以降低下の一途で、ここ数年は6〜7%に過ぎない。2000年度から14年度までの概算医療費の伸びを見ると、14年間で10兆5千億円の増、病院が4・6

「歯科医療費が長年抑えられている現状をどう見ているか。国民医療費に占める歯科医療費の割合（図）は、1980年以降低下の一途で、ここ数年は6〜7%に過ぎない。2000年度から14年度までの概算医療費の伸びを見ると、14年間で10兆5千億円の増、病院が4・6



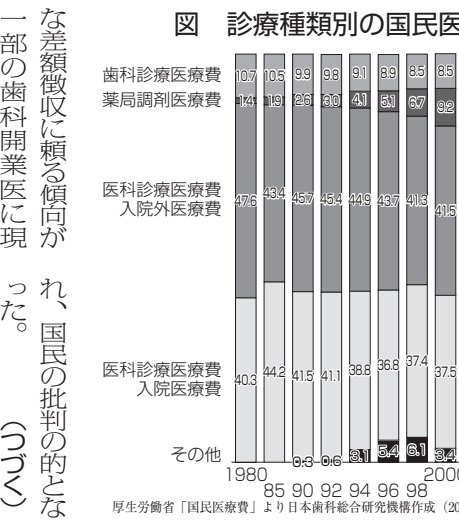
兆円（44%）、調剤薬局が4・4兆円（42%）、診療所が1・1兆円（11%）、歯科が0・2兆円（2%）だ。歯科医療費がいかに抑えられてきたかは一目瞭然だ。また、歯科医院間に経済的格差が広がっている。2000年に「か初診」が新設されて以降、歯科医院の収支差額の平均値と最頻値に大きな開きが見られる。施設基準が導入され、対応できる医院とできない医院間に、経営格差が生じていることが背景にある。

兆円（44%）、調剤薬局が4・4兆円（42%）、診療所が1・1兆円（11%）、歯科が0・2兆円（2%）だ。歯科医療費がいかに抑えられてきたかは一目瞭然だ。また、歯科医院間に経済的格差が広がっている。2000年に「か初診」が新設されて以降、歯科医院の収支差額の平均値と最頻値に大きな開きが見られる。施設基準が導入され、対応できる医院とできない医院間に、経営格差が生じていることが背景にある。

国策として歯科軽視

「富国強兵・殖産興業」を最重点に置いた明治政府の流れを汲んでいる。当時、明治政府は近代化政策の中で漢方医学から西洋医学に転換し、国策として医師の養成に取り組んだ。しかし、歯科医療は軍陣医学や伝染病対策を主とする政府の医療政策上、重視されることはなかった。政府は1927年（昭和2年）に健康保険法を

「富国強兵・殖産興業」を最重点に置いた明治政府の流れを汲んでいる。当時、明治政府は近代化政策の中で漢方医学から西洋医学に転換し、国策として医師の養成に取り組んだ。しかし、歯科医療は軍陣医学や伝染病対策を主とする政府の医療政策上、重視されることはなかった。政府は1927年（昭和2年）に健康保険法を



「金を取れない」歯医者者の苦悩なんかわかってくれないが、ぼやいてばかりいられない。

全面実施し、診療報酬制度が取り入れられるが、歯科は不当に低い点数で扱われた。報酬単価においても医科の半分、歯科技工については「きわめて高価」として保険の対象外とした。その後、日本歯科医師会の要望を受け入れ、咀嚼能率50%以下、77歯欠損以上などの厳しい制限を課して補綴を保険に収載した。61年に国民皆保険が実現した。同時に歯科では差額制度が容認される。60年頃から経済成長のもとで、皆保険によって患者が急増し歯科界も「繁栄」の時代を迎える。こうした中で、自費や法外

「金を取れない」歯医者者の苦悩なんかわかってくれないが、ぼやいてばかりいられない。

「金を取れない」歯医者者の苦悩なんかわかってくれないが、ぼやいてばかりいられない。

今日の数字 6737人 2017年の歯科衛生士国家試験の合格者数（厚労省発表）。合格率は93.3%。

今日の数字 6737人 2017年の歯科衛生士国家試験の合格者数（厚労省発表）。合格率は93.3%。

「経済的な理由による治療中断を4割の医療機関が経験している。現状でも負担が重く受診できないのに、高齢者の負担が増えればさらに受診を控え、手遅れになる。お金の心配なく受診できるようにこれ以上負担を増やさないと訴えた。面談に応じた清水忠史

「保険で良い歯科請願 5月末第一次集約 保団連は、「保険で良い歯科医療」の実現へ向け4月にスタートした新請願署名の第一次集約分を6月の国会行動で議員に託す。

4月度生涯研修講座 象牙質過敏症の治療を解説 岡山大・吉山昌宏氏が講演

臨床・学術部は吉山昌宏氏（岡山大学大学院歯歯学総合研究科歯科保存修復学分野教授）を講師に、「初期う蝕と知覚過敏の診断と治療」を4月16日、M&Dホールで開催し、82人が参加した。超高齢化が進む近年、楔状欠損や歯周病の進行に伴う歯根露出を有する患者が増加する傾向にある。一方で、象牙質知覚



過敏で歯科医を受診する率は日本34%で、米60%、欧州47%と比べて低いのが現状だ。吉山氏は「象牙質過敏症を的確に診断し、除痛処理をおこなうことは、患者さんの大きな満足と信頼を得ることにつながる」と意義を強調した。象牙質知覚過敏症の治療は、TSLのどの段階（咬耗・磨耗・酸蝕・咬合力不足・歯根露出、又スクリーニング/ルートプレーニング・P.M.T.C・漂白などの医療行為等）でも発症する可能性があることと注意を促した。

「象牙質知覚過敏症は、患者の大きな満足と信頼につながる」と語る吉山氏 4月16日、M&Dホール

今日の数字 6737人 2017年の歯科衛生士国家試験の合格者数（厚労省発表）。合格率は93.3%。

歯界 歯科医はわずか2年の補管期間を気にするが、天文学者は「地球の環境によく似た惑星なんかわずかに数百年のすぐ近くにたくさんある」と言う。

今日の数字 6737人 2017年の歯科衛生士国家試験の合格者数（厚労省発表）。合格率は93.3%。